

Ⅱ 相談の特徴

1. 世代で見ると

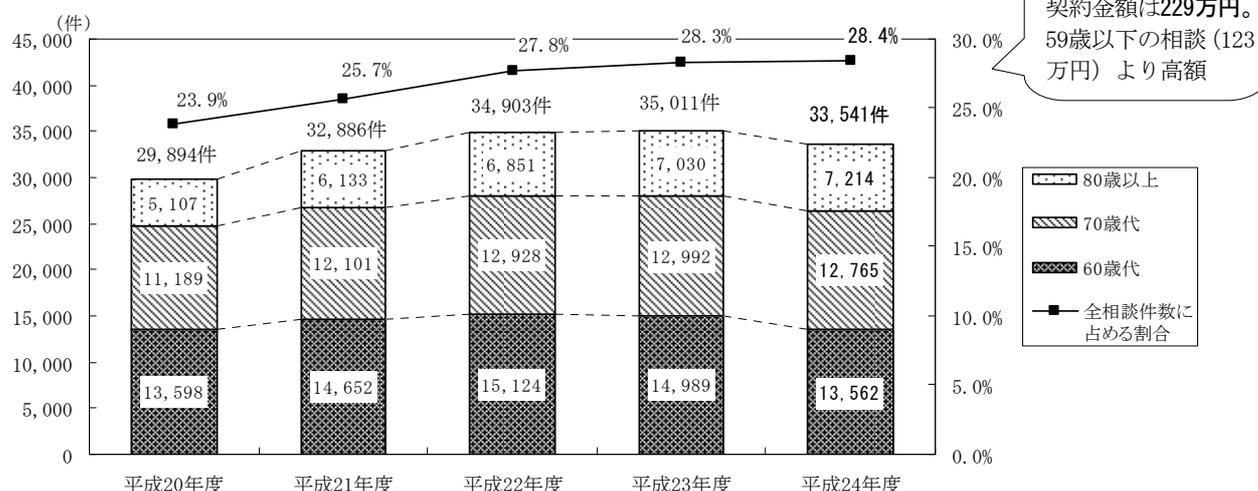
(1) 高齢者の相談 <契約当事者が60歳以上である相談>

① 高齢者の相談件数は年々増加していたが、平成24年度は33,541件となり、前年度に比べ4.2%の減少となった。全相談件数に占める割合は年々増加しており、平成24年度においても全体の3割近くを占めている。

年代別では、「60歳代」「70歳代」では前年度より相談件数が減少しているが、「80歳以上」では前年度より増加している。(図-4)

平均契約金額は229万円と、59歳以下の相談の平均金額123万円(相談全体の平均金額163万円)と比較して高額となっている。

【図-4】 高齢者の相談件数の推移



② 高齢者の相談が占める割合の多い商品・役務について見ると、「ファンド型投資商品」「預貯金・証券等」に関する相談は、全相談件数の8割以上を高齢者の相談が占めている。(表-1)

【表-1】 高齢者の相談が占める割合の多い商品・役務 (平成24年度)

(単位: 件)

商品・役務分類	高齢者の相談が占める割合	高齢者の相談	全年代の相談※	主な項目
ファンド型投資商品	81.3%	1,218	1,498	海外不動産投資、CO2排出権取引等
預貯金・証券等	80.0%	1,561	1,952	公社債、未公開株、預貯金等
健康食品	64.0%	1,046	1,634	健康食品、サプリメント等
生命保険	60.1%	601	1,000	普通生命保険等
工事・建築・加工	57.2%	1,564	2,736	塗装工事、増改築工事、屋根工事等
書籍・印刷物	51.1%	830	1,625	新聞、単行本、雑誌
他の教養・娯楽	50.9%	935	1,838	海外宝くじ、高額賞金当選のダイレクトメール、競馬情報サービス、自費出版サービス等
役務その他	45.1%	1,761	3,908	金融商品等の損失回復をうたう契約、廃品回収サービス、弁護士等
修理・補修	40.6%	565	1,392	衛生設備、屋根、腕時計、パソコン等の修理サービス、羽毛布団の打ち直し等